

新廃棄物処理施設整備事業

落札者決定基準

令和 7 年 5 月

掛川市・菊川市衛生施設組合

目 次

本書の位置づけ	1
1 落札者決定の手順	2
(1) 落札者決定までの審査手順の概要	2
(2) 参加資格審査	3
(3) 提案審査	3
2 提案審査における点数化方法	5
(1) 提案審査の配点	5
(2) 非価格要素審査の得点化方法	6
(3) 価格審査の得点化方法	6
(4) 総合評価値	6

本書の位置づけ

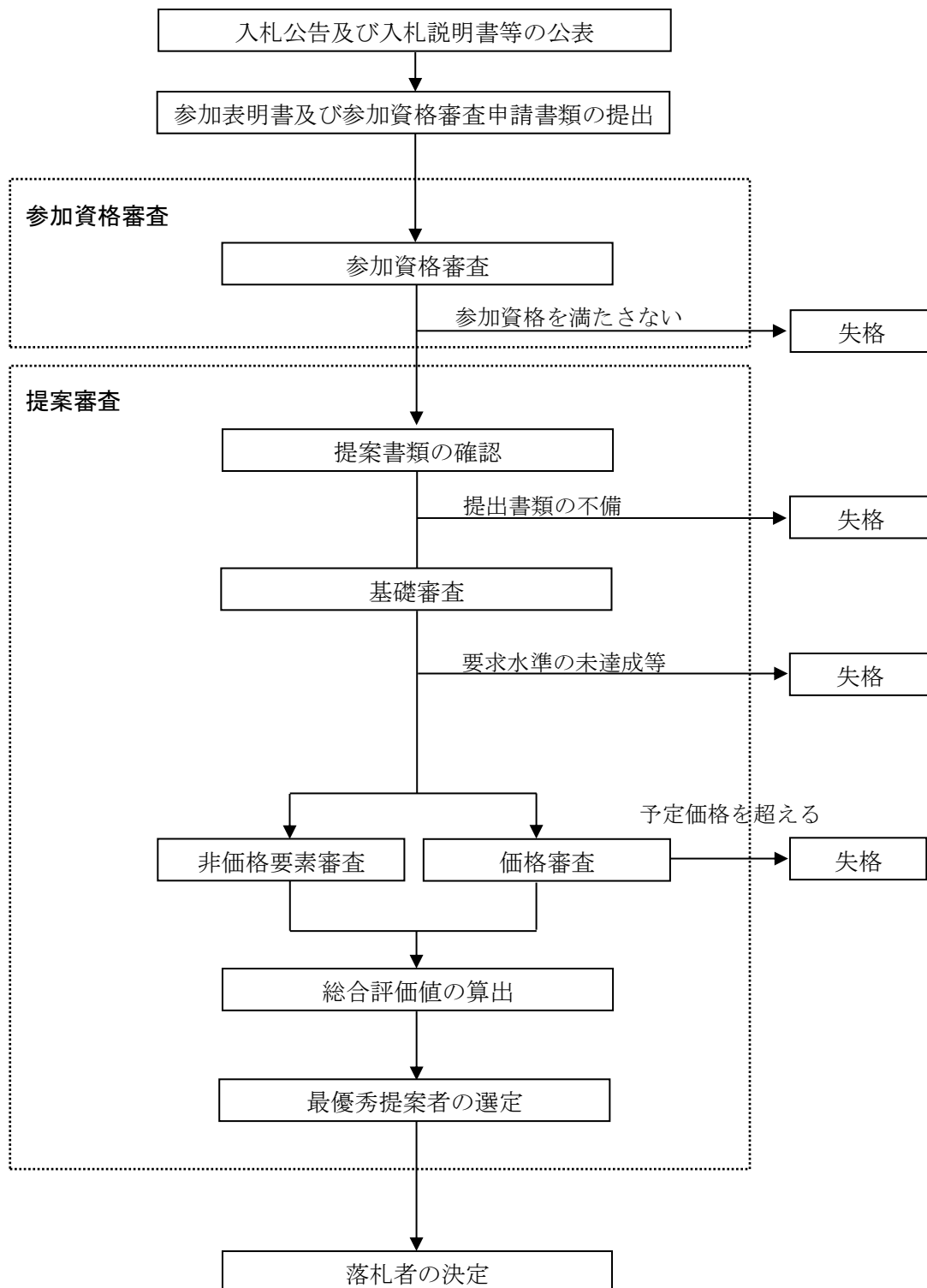
落札者決定基準は、掛川市・菊川市衛生施設組合（以下「本組合」という。）が新廃棄物処理施設整備事業（以下「本事業」という。）についての落札者を選定するにあたって、応募者のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価・選定するための方法及び基準等を示し、応募者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

最優秀提案者の選定にあたっての審査は、公平性及び透明性を確保するとともに、客観的な評価等を行うために設置している「新廃棄物処理施設整備事業 事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において行う。

1 落札者決定の手順

(1) 落札者決定までの審査手順の概要

本事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、次の手順で実施する。



(2) 参加資格審査

ア 参加資格審査

本組合は、応募者から提出される参加資格審査に関する書類をもとに、応募者が満たすべき参加資格要件について審査する。参加資格要件を満たさない場合は、失格とする。

(3) 提案審査

ア 提案書類の確認

本組合は、応募者に求めた提案書類が全て揃っていることを確認する。提出書類に不備がある場合は、失格とする。

イ 基礎審査

本組合は、提案書類に記載された内容が、基礎審査項目を満たしていることを確認する。提案内容が基礎審査項目について1項目でも満たさない場合は、失格とする。

基礎審査項目は、以下のとおりである。

審査対象	基礎審査項目
共通事項	・ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案または提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。 ・ 提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。
工事に関する こと	・ 各様式に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。
設計図書	・ 記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。

ウ 非価格要素審査及び価格審査

(ア) 非価格要素審査

選定委員会は、応募者から提出された提案書類の各様式に記載された内容について審査を行い、審査項目ごとに得点化する。

(イ) 価格審査

本組合は、入札書に記載された提案価格が提案限度額を超えていないことを確認する。提案価格が予定価格を超える場合は、失格とする。予定価格以下の場合、選定委員会は、応募者から提出された入札書に記載された提案価格について、予め定めた計算式に基づき、得点を付与した結果を確認する。

エ 総合評価及び最優秀提案者の選定

選定委員会は、非価格要素審査の得点及び価格審査の得点の合計（総合評価値）が最も高い提案者を最優秀提案者として選定する。なお、総合評価値の最も高い者が複数あるときは、複数の最優秀提案者を選定する。

オ 落札者の決定

本組合は、選定委員会の選定結果をもとに落札者を決定する。複数の最優秀提案者が選定された場合は、くじにより落札者を決定する。結果については、本組合ホームページで公表する。

2 提案審査における点数化方法

(1) 提案審査の配点

提案審査は、提案書類の確認後、非価格要素審査及び価格審査の総合評価により実施することとし、その配点及び点数化方法については、本組合が本事業に対して民間の創意工夫を期待する度合いを勘案して設定したものである。

審査項目（大項目）			配点（点）
非価格要素審査			50
安全、安心、安定的な稼働が期待できる施設			小計（25）
安定運転	建設		4
同種施設実績件数	建設		2
緊急トラブルへの対応	建設		8
	運転計画		2
災害に強い施設	建設		4
	運転計画		2
災害への対応	建設（焼）		1
	建設（リ）		1
	運転計画		1
脱炭素社会を見据え、環境負荷の少ない施設			小計（5）
有効な発電計画	建設		4
資源化の促進	建設		1
経済性が高く、運転管理が効率的かつ容易な施設			小計（20）
施設整備工事の実施	建設		2
延命化工事への配慮	建設		2
人員配置とメンテナンス計画、基幹改良工事	建設（共通）		2
	建設（焼）		1
	建設（リ）		1
施設配置、内部配置、見学者対応	建設		2
搬入搬出計画	建設		2
ライフサイクルコストの低減	建設		2
地域貢献	建設		2
アフターフォロー	運転計画		2
ごみの受入、不適物等の対応	建設		2
価格審査			50
合計			100

※上記のうち（焼）は焼却施設、（リ）はマテリアルリサイクル推進施設、（共通）は左記施設共通のものを意味する。

※詳細は別紙参照

(2) 非価格要素審査の得点化方法

ア 非価格要素審査の項目及び配点

非価格要素審査の審査項目及び配点は、別紙「非価格要素審査における審査項目及び配点」を参照すること。

イ 審査項目の判断基準

非価格要素審査は、別紙に示す項目ごとに行い、次に示す3段階評価に基づき選定委員会の各委員が個別に評価を行い、その平均値を得点として付与する。得点は小数第三位を四捨五入した値とする。

評価	判断基準	得点化方法
A	要求水準を十分に上回る、もしくは、高い効果が期待できる	各項目の配点×1.00
B	AとCの中間程度	各項目の配点×0.50
C	要求水準と同程度、もしくは、効果が期待できない	各項目の配点×0.00

(3) 価格審査の得点化方法

価格審査については、提案価格を次の方法で点数化する。なお、定量化限度額は、予定価格の75%として設定する。

① 最低提案価格 ≤ 定量化限度額の場合 価格審査点 = (定量化限度額 / 当該提案価格) × 配点 (50 点) ※提案価格が定量化限度額を下回った場合には、上記の式によらず 50 点とする。
② 最低提案価格 > 定量化限度額の場合 価格審査点 = (最低提案価格 / 当該提案価格) × 配点 (50 点)

※価格審査点（小数点以下）は、小数第三位を四捨五入した値とする。

(4) 総合評価値

非価格要素審査の得点と価格審査の得点の合計値を総合評価値とする。

(落札者決定基準 別紙) 非価格要素審査における審査項目及び配点

下記分類のうち、焼却：焼却施設、リサ：マテリアルリサイクル推進施設、共通は両施設に關係する事項を意味する。

評価項目						提案書式番号	枚数	評価点	
分類	項目	評価のポイント	評価内容（評価の視点例）	提案事項					
施設整備基本方針 1：安全、安心、安定的な稼働が期待できる施設									
(1) 地域の環境保全を最優先とする最新の高度な排ガス処理技術等の導入や、ダイオキシン類をはじめとする有害物質の排出の低減を図る処理システムを備えた施設とします。									
(2) 社会情勢やライフスタイルの変化によって生じるごみ量及びごみ質の変動に対して柔軟に対応し、ごみ処理を安定的に行うための機能を備えた施設とします。									
(3) 大規模な災害時にも稼働でき、自立分散型の電力や熱供給等を確保し、災害時に発生する廃棄物を安全に処理できる機能を備えた施設とします。									
(4) 万全の安全性と危機管理が十分に考慮され、地域にとって安全と安心が確保される施設とします。									
関連する基本方針番号									
焼却 リサ 共通	建設	(1) (2)	安定運転	①ごみ処理システム設計内容 ②プラスチック使用製品減少に対する対応方法	・信頼性の高い処理システム、設備構成、最新技術の採用等、安定稼働の継続について実績を踏まえた効果的な提案が示されているか。 ・将来的なプラスチック使用製品の収集推進に伴うごみ量、ごみ質の変化（ごみの低質化）への対応について効果的な提案が示されているか。 ※遠隔A I 常時監視や遠隔メンテナンス常時監視は評価対象外とする（他項目でも同様）。	※実績を踏まえて具体的に記載すること ・ごみ量、ごみ質の変動による安定処理への影響（特にごみの低質化を踏まえた設計） ・プラスチック量が減少したときの対応方法について	6-1	2	4
焼却 リサ 共通	建設	(4)	同種施設実績件数	①竣工実績件数	・エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設（併設合棟）の設計・建設竣工実績（H22年度～R6年度15年間）に件数により評価する。 【定量評価】3件以上、2件、1件以下で区分	・竣工実績数	6-2	1	2
焼却 リサ 共通	建設	(4)	緊急トラブルへの対応	①リチウムイオン電池に対する火災対策 ②ビット火災対策	・リチウムイオン電池やごみビット内の発火、火災について、早期発見、迅速・確実な消火、延焼防止対策などについて効果的な提案が示されているか。	・発火前、発火時点の検知 ・迅速な消火、確実な消火 ・延焼拡大防止	6-3	2	8
	運転 計画				・火災時の人員配置をどのようにするのか。 ・実績を踏まえてどのような対応をするか。 ・運転指導、訓練等方法はどのようにするのか。	・実績 ・訓練	6-4	1	2
焼却 リサ 共通	建設	(3)	災害に強い施設	①建築物の構造計画 ②構造・設備の耐震性 ③避雷対策	・構造計画や設備等の耐震性、避雷対策について、安全に配慮されているか。	・耐震性、避雷対策	6-5	1	4
	運転 計画				・地震や落雷による停電、停止が発生した際、実績を踏まえてどのような対応をするか。 （ブラックアウト時からの立ち上げを含む） ・運転指導、訓練等方法はどのようにするのか。	・実績 ・訓練	6-6	1	2
焼却	建設	(3)	災害への対応	①災害ごみへの対応 ②災害ごみ受入時の対応方法	・どのような災害ごみを受入れすることができるように計画しているか。（焼却施設）	・大型の災害廃棄物への対応	6-7	1	1
リサ	建設				・どのような災害ごみを受入れすることができるように計画しているか。（マテリアルリサイクル推進施設）	・大型の災害廃棄物への対応	6-8	1	1
焼却 リサ 共通	運転 計画				・実績を踏まえてどのような対応をするか。 ・運転指導、訓練等方法はどのようにするのか。	・実績 ・訓練	6-9	1	1

評価項目						提案書式番号	枚数	評価点			
分 類	項目	評価のポイント	評価内容（評価の視点例）					提案事項			
施設整備基本方針 2：脱炭素社会を見据え、環境負荷の少ない施設											
(1) ごみによる高効率発電と余熱利用を通じてごみの持つエネルギーを最大限に活用し、循環型社会の形成推進に貢献できる施設とします。 (2) 高効率型の省エネルギー技術や高度な制御システムを導入することで二酸化炭素排出量を最小化した施設とします。											
関連する基本方針番号											
焼却	建設	(1)(2)	有効な発電計画 ①発電量 ②売電の最大化のための方策 ③売電の最大化のための運転計画	・優れた年間売電量の提案がなされているか。R 5 年度搬入可燃系ごみ量（要求水準書添付資料）を基に計算【定量＋定性評価】 発電量（自家消費を除く）の提案に基づき、焼却施設について最高提案売電量の提案者は満点とし、最高提案売電量の提案者以外については次のとおり得点化する。R 5 年度のごみ量（日ごと）を基に運転計画と併せて発電計画を計算する。また、ごみ量75%～100%（5%区切り）、熱量75%～100%（5%区切り）の範囲でそれぞれの発電出力をマトリックスで提示する。 【定量評価算定式】（1 年間の発電量） 配点－配点×{（最高提案売電量－当該者の提案売電量）÷（最高提案売電量）} ※小数点以下第 3 位以下切捨			・年間発電量 ・運転計画と発電計画 ・ごみ量、ごみ質に応じた発電量	7-1	3	4	5
リサ	建設	(1)	資源化の促進	①資源化物の回収（品質、量） ・資源化物の品質と量（純度・回収率等）の向上について、計画的かつ妥当性が高い提案が示されているか。			・鉄、アルミの純度向上 ・鉄、アルミの回収率向上	7-2	1	1	

評価項目				提案書式番号	枚数	評価点			
分類	項目	評価のポイント	評価内容（評価の視点例）				提案事項		
施設整備基本方針 3：経済性が高く、運転管理が効率的かつ容易な施設									
(1) 建設費だけでなく維持管理費も考慮したライフサイクルコストに優れた施設とします。 (2) 安全安心で優れた環境保全性能を有する高い機能性と経済性の両立に留意した施設整備と維持管理を行える施設とします。 (3) 長寿命化技術を積極的に取り入れるとともに、高い維持管理性と将来的な基幹的設備改修を考慮した施設とします。									
関連する基本方針番号									
焼却 リサ 共通	建設	(2)	施設整備工事の実施	①工事中の環境・安全確保 ②工程管理・工法の確実性・効率性 ③工事中の動線	・工事期間中における振動・騒音、粉じん、濁水等の抑制等の対策、安全性の確保等、敷地内施設等への影響を低減するための対策がなされているか。 ・工程管理・工法について、確実性・効率性に配慮した適切かつ具体的な提案が示されているか。	・工事中環境対策 ・各種協議及び申請スケジュール ・敷地内の工事関係車両以外への安全性確保	8-1	1	2
焼却 リサ 共通	建設	(3)	延命化工事への配慮	①延命化工事実施時の安全性、作業性	・将来的に実施する延命化工事について安全性、作業性に配慮した効果的な提案が示されているか。極力、運転を継続しながら、工事を実施できるよう配慮されているか。	・工事計画参考案、重機配置計画等	8-2	1	2
焼却 リサ 共通	建設	(2)	人員配置とメンテナンス計画、基幹改良工事	①メンテナンス性を高めるための配置計画、点検等のルート	・機器のメンテナンス、補修及び更新等（大型機器の搬入方法、将来の基幹改良工事を含む）を考慮した具体的な配置、動線となっているか。 ・中央制御室からのメンテナンスルートについて、点検がスムーズに進められるよう配慮されているか。（メンテナンス備品、ダイオキシン類管理区域との位置関係含む）	・通常点検やメンテナンスルート ・大規模修繕等	8-3	1	2
焼却	建設	(2)		①省人化・作業効率化	・運転に必要な配置人数及び体制について、省人化・作業効率化に向けた必要人員の適切かつ具体的な提案が示されているか。（焼却施設の運転は1班3名、クレーン操作員1名配置することを前提とする）	・省力化を行うために導入するシステム等	8-4	1	1
リサ	建設	(2)			・マテリアルリサイクル推進施設については、リチウムイオン電池や不適物の除去作業の効率化について提案が示されているか。（計量棟は2名配置することを前提とする）	・省力化を行うために導入するシステム等	8-5	1	1
焼却 リサ 共通	建設	(2)	施設配置、内部配置、見学者対応	①施設の配置計画 ②運転作業員動線・見学動線安全性	・施設の配置が合理的かつ効率的であるか。 ・運転作業員動線と見学等一般市民動線ができるだけ分離され、安全性・利便性に配慮した動線計画であるか。 ・行政視察者のように機械室等への動線について適切に計画されているか。	・施設の配置、動線（運転員、見学者、職員等）	8-6	1	2
焼却 リサ 共通	建設	(2)	搬入搬出計画	①受付方法 ②車両動線	・一般搬入者の受付から支払いまで、わかりやすい手続、事故回避、動線、誘導等に配慮し、収集車両を含めた渋滞緩和や安全性の確保について考慮した提案が示されているか（混載車の対応、動物受入対応を含む）。 ・多様な搬入出車両（持込み、見学等一般市民車両含む）への対応、安全対策、住民が利用しやすいサイン計画、渋滞時の対策等を考慮しているか。 ・災害ごみ搬入時の動線はどう考えられているか。	・効率的受付管理計画 ・車両動線の創意工夫 ・混載ごみの場合の誘導 ・料金精算方法	8-7	1	2
焼却 リサ 共通	建設	(1)	ライフサイクルコストの低減	①省エネルギーへの取組み ②用役使用量の削減 ③維持補修費	・省エネルギー化について効果的な提案が示されているか（対策と効果）。 ・用役使用量（水・燃料・薬剤）の削減について、具体的かつ効果的な提案が示されているか（対策と効果）。また、その裏付けは実績に基づくものであるか。 ・20年間の維持補修費はどの程度であるか（年度別、設備・機器別に費用を算出）。なお、基幹改良工事は21年目以降に実施予定とする。	・省エネ化への具体的な計画 ・用役使用量の低減化計画 ・補修、交換箇所と費用（20年間）	8-8	1	2
焼却 リサ 共通	建設	—	地域貢献	①地元企業への発注	（定性評価） 地域経済への貢献について、次の内容を検討し、具体的な提案が示されているか。 ◇地元企業の有無（協力企業、下請・委託先・資材調達先） ◇地元発注予定	・地域経済への貢献方法	8-9	1	2
焼却 リサ 共通	運転計画	(2)	アフターフォロー	①建設後の支援体制	・建設後の運転上のトラブル対応やメンテナンスなどについてどのような支援を行うことが示されているか。（ただし、常時監視までは不要） ・試運転期間中等の運転員やメンテナンス要員に対する指導について十分な支援を行うことが示されているか。 ・海外調達品等調達に時間がかかる機器に関して、迅速な調達体制を整えているか。	・建設後の支援方法	8-10	1	2
リサ	建設	(2)	ごみの受入、不適物等の対応	①プラットフォーム、受入ヤードの安全性・効率性 ②処理困難物・搬入不適物の対応	・安全対策、作業効率の向上策（特にプラットフォーム、不燃・不燃性粗大ごみの受入ヤード）について効果的な提案が示されているか。 ・処理困難物及び搬入不適物の混入防止対策や搬入物検査について具体性があるか。	・受入場所の安全対策、作業効率化 ・不適物等確認の効率化	8-11	1	2